

「2012年度 ビジヨナリーリサーチ継続助成（2010年度ホップ）」申込の留意事項

申込に際しては募集要領およびFAQを熟読のうえ、下記留意事項に従ってお申込みください。応募用紙はダウンロードしてお使いください。

1. 応募用紙は「2012年度ビジヨナリーリサーチ継続助成（2010年度ホップ）申込書」と別紙「研究要旨」の2様式から成っております。各項目に従って記入ください。
 - (1) 氏名・所属機関・部科・職位・所属機関住所・郵便番号・電話番号・E-mailについては、連絡をさせていただく必要上、正確に記入ください。
 - (2) 「研究要旨」に2010年度助成採択後から現在までの『夢』の進捗状況ならびに今後の具体的な研究について記載ください。

また、研究課題に関する2010年度助成採択後の公表論文があれば添付ください。

なお、公表前の論文に関しては掲載証明書等、公表あるいは投稿中が確認できる書類を添付ください。

上記内容を3ページ以内に日本語(文字の大きさは10.5~12point)で記載ください。

2. 応募書類を郵送する場合は、ビジヨナリーリサーチ継続助成申込書を3部(原本1部、コピー2部)、研究要旨および論文(必須ではない)を2部(原本1部、コピー1部)提出ください。

また、送付の封筒表面に「ビジヨナリーリサーチ継続」と記入ください。

応募締切：2012年4月5日(木) 必着

3. 助成金をお受けになった研究者には、後に下記のことをお願いしますので、その旨お含みのうえ応募ください。

- (1) 2014年5月末までに研究経過または研究結果の報告をお願いします。

研究途中の場合は経過概要を原稿用紙3~4枚程度にお纏めのうえ報告ください。研究終了後に改めて論文(研究結果報告の代替とします。)または研究結果の報告をお願いします。

研究結果を論文発表された場合には別冊またはコピーを一部当財団宛に送付ください。報告いただいた論文は助成対象者公表文献一覧表として財団ホームページに掲載します。

論文発表されない場合は研究結果を原稿用紙3~4枚程度にお纏めのうえ報告ください。

- (2) 研究の発表に際しては、当財団からの助成を受けた旨の記載をお願いします。

(財団英文名：Takeda Science Foundation)

4. 助成金は、対象研究に直接関係ある費用に限って使用ください。当財団は施設への助成金(寄附金)申込時に間接経費(いわゆるオーバーヘッド)の免除の願いをしております。また、助成金は施設での受入および管理を原則としております。なお、使

用期限は特に定めておりません。

2014年5月末までに収支報告書（様式は自由）を提出願うこととしております。

研究途中の場合は2014年3月末時点での収支報告書を中間報告として提出ください。

研究終了時に改めて収支報告書の提出をお願いします。

5. 応募内容は秘密を厳守し、本選考以外には使用しませんが、提出いただいた書類は返却しません。また、助成対象者に関する情報（氏名、所属、研究課題、金額）は、一般公開しますので、予め了承ください。

以 上